

# 防災特集

# あさみ会報



朝見まちづくり協議会 あさみ会報編集部 2012.03.01 発行  
発行責任者・鈴木三千夫  
松阪市大宮田町 209-4  
朝見地区市民センター内

## 第37号

### 津波対策：「逃げるが勝ち！」すぐ高台（松阪商業高校）目指して！

津波の起る地震とは？：立っておれないほどの「ゆれ」が来る！

津波到達まで約1時間はあります、徒歩でも高台へ1時間で逃げれます！

### 地震対策：予測される東海、東南海、南海地震は朝見地区を震度6で襲う！

日頃からの対策：家具の転倒防止をしよう！揺れから身を守る（ケガをしないよう）

### 日頃の防災訓練、知識、準備が命を守り、家族を守り、地域を守る！

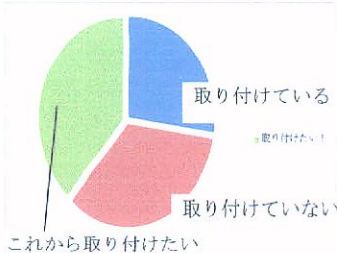
**= 各町公民館に海拔表示板を取りつけました！防災の参考にして下さい！ =**

第7回朝見地区ふれあい防災訓練アンケート調査から分析（参加者241名から回答を頂きました）

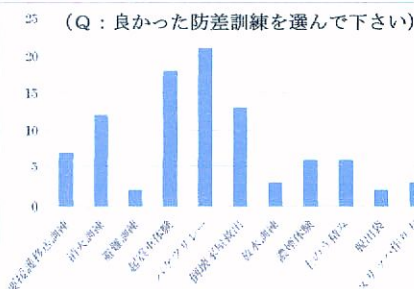
①60分で高台まで逃げられるので地震が発生したらすぐ逃げれば助かる。②体力の差により、逃げる時間の差がある。③逃げるためには普段から体力の鍛錬が必要だ。④若い人が高齢者を気使う言動があり、共生の精神がある事。⑤電柱の無い避難路を選んだ町もあり、普段から避難路の確認が大事だ。⑥街中を避けての避難路を選んだところもあり、地域で避難場所、順路を確認しておくことが大事だ。⑦持ち物に付いて、お茶、水など水分の補給を取っている。⑧身近に備蓄していくことが大事だ。⑩服装は季節により異なると思うと津波避難所に備蓄倉庫が必要だ。

#### アンケート調査で 頂いた意見

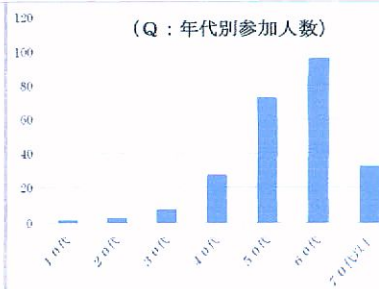
1 情報の徹底  
2 何処で行っているか全体に  
放送する、ナレーションや紹  
介が必要では。何をやるの  
か不明。



(家具の転倒防止)



(Q：年代別参加人数)



- 3 毎年同じでマンネリ化している。
- 4 3年ほどに防災訓練をしたらどうか。
- 5 参加者が少ない、せめて1戸に1人は出るように。
- 6 実際に起ったらこんなことでは済まないと思う。日頃からの防災の事を考えて用意しておきたい。
- 7 運動場のナレーションを校内放送にして活用して「何をやっている」のか、流すべき。何してるのか分からない。
- 8 声が聞こえにくい。
- 9 マイクが聞き取れにくい。小学校の放送の方がはっきりしている。
- 10 段々(参加)が増えている。
- 11 不参加者対策とマンネリ打破。
- 12 もっと沢山の人が参加してほしい。
- 13 次回も機会がある時参加したい。
- 14 隣人のふれあい。
- 15 みんな体験してほしい。
- 16 スリッパは身近に置く、手作り出来るようになった。
- 17 スリッパ作りなど体験をすることが出来た。
- 18 良かったと思う。
- 19 大勢の人が出ていること。
- 20 バケツリレーに人が多すぎる。
- 21 挨拶で話すのは台に乗ってほしかった、何も分らなかった。
- 22 安否確認カードも訓練で集めましたが地震や津波が来た時は、どうやって安否確認するのか?と思いました。
- 23 参加者が少ない。
- 24 無関心の人が多い。安否確認未提出が3割程あった。
- 25 津波の危険さが分って良かった。
- 26 訓練といえどもされていない。
- 27 各訓練の開始がガラガラしているので時間等でキビキビした方がよいのでは?。
- 28 非常に良かった。
- 29 あまり訓練と感じない。
- 30 良いと思う。
- 31 地震は怖い。
- 32 避難所に来た人、居場所の確保。
- 33 自分勝手な行動をせず、譲りう気持ちを持つこと。
- 34 もっと少しスムーズに。
- 35 もっと少し現実的な場面を想定しての訓練をやる必要がある。
- 36 自治会長の下にも指示を伝える班長的な者もいる。
- 37 地震体験車が良かった。
- 38 普段地域の人と会う機会が少ない、近隣の人の関わりが大切だと思う。
- 39 地震発生からスピード感ある真剣な訓練を。
- 40 年少者(若者)が少ない。
- 41 進行がスムーズになるよう検討願います。
- 42 参加者が毎年だんだん決まっているので、もっと多くの人が参加すれば良かったと思う。
- 43 マンネリ化しつつあるので時間帯をずらしてみるのも良い。
- 44 体験で来てよかった。
- 45 訓練のためにマニュアルが無い為、効率が悪い。何をしたらよいのか分からない。
- 46 命あってこそ、逃げるが勝ち。
- 47 段取りが無い。
- 48 災害に対する自覚。
- 49 実戦的に行うことが大事だと思う。
- 50 町代表による救助が良かったと思う。
- 51 人命救助のところ、タンカーの準備、体が出てから紐をほどいて、いた少し遅い。
- 52 地域のみんなが災害に関心を持って良いと思います。
- 53 進行が分らなかつた。
- 54 始めの挨拶が聞こえず。
- 55 地震はいつ起こるのかわからない発生する前の心構えは大切。
- 56 毎回、参加の人が多く色々な訓練や体験を進んで出来るようになり、訓練に慣れてきて良いと思う。
- 57 訓練は夏が良い。
- 58 時々こんなことをして、訓練をやること。



(平成23年度第7回朝見地区ふれあい防災訓練より)

- (裏面に続く)

59 ヶブタと長すぎた。60 訓練、防災講演会等、何時も参加する人が同じである。地区によっては防災に対する温度差がある。訓練の内容よりも防災意識を高めることが今後の重要課題であると思う。訓練は午前中に行う方がよいのでは？

区を出発するまでの時間がもったいない。もっと高齢者の方も朝見小学校まで一緒に歩いてもらったらどうでしょうか？

83 若い人の参加が少なく感じた。動ける若者に訓練させた方がいいのでは？

84 年齢が気になった。高齢化しており、不安を感じた。85 今回は家族代表でしたが、なるべく家族ぐるみで参加し防災意識を高める事が大事かなと感じた。

86 3階からの救助袋でスピードが出すぎて事故につながる寸前だった。滑りの良い服装、体勢を色々考えさせられた。

87 いろいろな体験が出来て良い事だと思つた。

88 安全確認などの通知が遅い。89 準備不足。90 毎日の訓練が身に付く。91 参加人数が少なくなってきた。92 毎年同じで危機感が無くなってきた。93 来年は夏にして下さい。94 企画してもらって本当にうれしく思いました。95 色々できて良かったです。96 時間を短縮。97 何時も同じ。98 時間が長い。99 みんながまとまり協力するところ。100 時間。101 風まで。102 訓練がバラバラと行われていて分りにくかった。103 地震の事が分った。104 年々に機敏性が出ていた。105 訓練と言えども機敏性が足りない。以上、意見を頂き、ご協力ありがとうございました。

61 皆様との協力。62 全体的に時間にルーズ。ダラダラ待つだけの時間が長すぎる。63 色々体験できなこと。64 初めに消火器の使い方が分かり良かった。65 皆のチームワーク。66 地域の情報提供、伝達訓練も必要だと思つた。67 避難経路を確認しておくことが大事。68 知識不足。69 毎回同じ訓練ばかり。70 地域の人の顔を知ることが出来た。71 毎回同じ事より一歩前進して。72 毎年した方がよい。73 危機感が無いので間伸びしている。指示等の声が見えない。74 大変でも毎年続けること。

75 マイクが聞こえにくい。76 少しマンネリ化しているように思う。時間とか場所とか。77 色々訓練、練習が出来たこと。78 朝見は感心だと思つた。79 必要なことだと思つた。80 前年より少し流れが悪かった。

81 何も持たずに避難したけど、実際は荷物を持って子どもを連れて歩いて行くことが困難だと思つた。82 集合時間は早いのに地区を出発するまでの時間がもったいない。もっと高齢者の方も朝見小学校まで一緒に歩いてもらったらどうでしょうか？

83 若い人の参加が少なく感じた。動ける若者に訓練させた方がいいのでは？

84 年齢が気になった。高齢化しており、不安を感じた。85 今回は家族代表でしたが、なるべく家族ぐるみで参加し防災意識を高める事が大事かなと感じた。

86 3階からの救助袋でスピードが出すぎて事故につながる寸前だった。滑りの良い服装、体勢を色々考えさせられた。

87 いろいろな体験が出来て良い事だと思つた。

88 安全確認などの通知が遅い。89 準備不足。90 毎日の訓練が身に付く。91 参加人数が少なくなってきた。92 毎年同じで危機感が無くなってきた。93 来年は夏にして下さい。94 企画してもらって本当にうれしく思いました。95 色々できて良かったです。96 時間を短縮。97 何時も同じ。98 時間が長い。99 みんながまとまり協力するところ。100 時間。101 風まで。102 訓練がバラバラと行われていて分りにくかった。103 地震の事が分った。104 年々に機敏性が出ていた。105 訓練と言えども機敏性が足りない。以上、意見を頂き、ご協力ありがとうございました。

106 訓練と言えども機敏性が足りない。以上、意見を頂き、ご協力ありがとうございました。

107 訓練と言えども機敏性が足りない。以上、意見を頂き、ご協力ありがとうございました。

108 訓練と言えども機敏性が足りない。以上、意見を頂き、ご協力ありがとうございました。

109 訓練と言えども機敏性が足りない。以上、意見を頂き、ご協力ありがとうございました。

110 訓練と言えども機敏性が足りない。以上、意見を頂き、ご協力ありがとうございました。

### 防災と教育と地域の

#### きずなの構築に向けて

1 地震、津波の想定は、あらゆる可能性を考慮した最大級で検討する必要があるが、最大級だけではなく、従来の想定レベルや軽微でも危険な状況など、いくつかの段階で考える必要がある。

2 災害に当たっては、情報伝達の手法をハード・ソフト両面で対策を確立して、それを活用した避難行動を用意しておく。時間がある場合と緊急の場合とは対応が異なるし、場所によっても違う。

3 学校と地域がともに、防災教育を実施し、地域の防災意識をさらに向上させる。年齢に関係なく、実態に合わせた訓練を実施する。児童生徒に徹底すれば、防災リーダーが育っていくのである。また、必要な物資や資材を貯蔵しておくための予算や場所の確保は必須事項である。

4 避難シミュレーション(例えば、徒歩5分以内へ300名位一緒に、何を持って、誰と一緒に)から、避難行動をイメージできるようにする。なお、津波避難後は、6時間は待機する必要があることから、避難待機時の準備も考えておく。

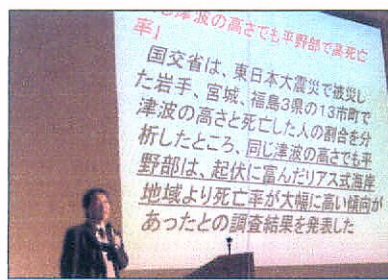
5 日常の地域活動に参加(逆に地域住民は学校教育活動に参加)し、顔が見える関係づくりが重要である。

6 絆づくりは、人や地域への愛着だけでなく、将来の展望(夢や未来を考える)、規範意識(ルールの策定)、熱中する何か(地域を巻き込む方針)を作るなど、具体的な行動から始まる。

7 あきらめない防災とは、若い人たちに地域への誇りや

願いを伝えていくという意識(使命感)を伴うものであり、大人たちへの責務ともいえよう。

《引用：5県連携自主防災組織交流大会に於いて鳴門教育大学大学院教授 阪根健一「防災研修資料」》



(講演をされる阪根氏)

### 住民自らが

#### 津市波瀬 防災の取り組み

下之世古自治会より 視察交流！

平成24年2月22日(水) 10:00

波瀬下之世古自治会 会長 田畑 順一様 3名を迎えて

防災の取り組みで意見交換会を行う。

《質疑応答での内容》

① 住民協議会について

自治会を基盤に住民協議会(参加)し、顔が見える関係づくりが重要である。

6 絆づくりは、人や地域への愛着だけでなく、将来の展望(夢や未来を考える)、規範意識(ルールの策定)、熱中する何か(地域を巻き込む方針)を作るなど、具体的な行動から始まる。

7 あきらめない防災とは、若い人たちに地域への誇りや

願いを伝えていくという意識(使命感)を伴うものであり、大人たちへの責務ともいえよう。

《引用：5県連携自主防災組織交流大会に於いて鳴門教育大学大学院教授 阪根健一「防災研修資料」》

② 地区消防団と

自治会を基盤に住民協議会(参加)し、顔が見える関係づくりが重要である。

6 絆づくりは、人や地域への愛着だけでなく、将来の展望(夢や未来を考える)、規範意識(ルールの策定)、熱中する何か(地域を巻き込む方針)を作るなど、具体的な行動から始まる。

7 あきらめない防災とは、若い人たちに地域への誇りや

願いを伝えていくという意識(使命感)を伴うものであり、大人たちへの責務ともいえよう。

《引用：5県連携自主防災組織交流大会に於いて鳴門教育大学大学院教授 阪根健一「防災研修資料」》

③ 防災訓練の在り方。自分たちで訓練内容を検討、消防署や社会福祉協議会等協力を依頼している。自主自立の精神でまちづくりの活動に取り組んでいます。防災訓練は四季を問わず訓練は繰り返し実施する事が大事。

④ 行政は申し込み制で要介護者の支援活動について。個人情報保護法等により、一括掌握、保管等難しい。⑤ 家具の転倒防止について。自分を守る一番大事なことである。行政の支援体制があるが対象が限られる。取り付け支援をするグループ等考えているが家具や取り付けの際のキス、機材や費用など理解してもらわなければ見本として転倒防止資機材は準備しているが、各家庭に委ねるしかない。⑥ 自主防災組織と資機材の活用について。防災訓練の発端は各町自主防災組織の強化をしようとの思いが強かった。地域防災力を高めることが来るべき大地震への備えとして。⑦ 飲料水の確保はどのようにしているか。簡易水道のエンジン駆動設備をしていますが飲料水の確保は難しいと思つた。田舎なので河川も近くにあり水は豊富にあるように思つてはいるがこれから対応策をしっかりとしないと大変なことになると思う。

⑧ 地区避難所。全員を収容できるか。津波が有る無いで変わるが各町の第一避難場所、地区として朝見小学校体育館等と



(高齢者見守り隊説明会)

### 災害時協力企業(事業所)の紹介

《朝見地区内の各事業所と災害時の救出作業の協力協定を行っています》

(大宮田) 茂谷工務店・大徳建設株式会社・上川運送株式会社・JA 松阪農機センター (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設・葵クレーン (佐久米) 小林ファームライセンサー (立田) 宝石油株式会社・中尾木材有限公司・株式会社ミック・鍛冶春建設有限公司・さくらテラス (古井) 有限公司松井工務店・柳産業有限公司・エムエフマツモト有限公司・岡田園芸・株式会社サンカ機工 (新屋敷) 第一産業株式会社 (上七見) 鈴木農産・(向橋) 本電機・奥村農産 (和屋) ススキ産機有限公司・溝口土建・井上組・有限公司安達建設